

バイデンがラビによるガザ休戦の要求を無視

米大統領が戦闘の完全中止を拒否し、「一時的人道処置」を提案

<https://www.rt.com/news/586418-rabbi-biden-gaza-ceasefire/>

RT

November 2, 2023

米大統領ジョー・バイデンは、イスラエル-ハマス紛争の休戦の要求を拒否し、代わりに、一時的な人道的停止を提案した。

バイデンは 200 人ほどの聴衆に話しかけていたが、一人の女性——後にラビの Jessica Rosenberg と名乗った——が叫んで言った、「もしあなたがユダヤ人を大切するなら、私はあなたがたった今、休戦を命令することを要求します。」

この出来事はビデオに撮られ、X（前ツイッター）のアカウント Jewish People for Peace は、ローゼンバーグは「ジェノサイドが、ユダヤ人の名で実行されることを拒否する」何千ものユダヤ系アメリカ人を代表して発言した、と主張した。

大統領はこれに応じて、「我々は戦争停止が必要」だと言うと言い、これは「捕虜を解放する時間が必要」という意味だと説明した。明らかにそれは、現在、ガザに足止めされている外国籍の人々のことを言っている。

ラビのローゼンバーグが、そこから連行されたあと、大統領は彼女の感情はよくわかると言い、これはイスラエル人にとっても、ムスリム（イスラム）世界にとっても「恐ろしく複雑なのだ」と認めた。

「私は2つの国家という解決を支持している。初めからそうだった」と彼は言った。しかし、とつけ加えて彼は、「実のところは、ハマスというのはテロ組織なのだ、正真正銘のテロ組織だ」と言った。

10月7日、1,400以上のイスラエル人が死んだ、ハマスの攻撃の後、バイデンは水曜日のミネソタ演説で、ワシントンはイスラエルの「自衛権」支持していると言った。

それ以前に、大統領は、アメリカは「何が何でも」イスラエルを支持すると、繰り返し主張していた。同時に米務省も連続して、停戦の要求を拒否しており、それはハマスを利するだけだと言っていた。

ワシントンの無条件のユダヤ国家支持は、やがて、激しく批判を浴び、ガザの市民人口への、イスラエル防衛軍（IDF）による残虐行為への非難が、増していった。

地方の保健局の最近の推定によれば、これまで9,000にのぼる人々が、過去3週間に、IDFのガザへの攻撃によって殺された。

一方、ロシアの、国連への永久代表ワシリー・ネベンジャは、イスラエルの自衛権についてのワシントンの議論を一蹴して、「力によって占領している国として、イスラエルはそんな権利を持たない、」それは2004年に、国際裁判所の忠告判決として決まったものだ、と言った。しかし彼は強調して、ロシアはそれにもかかわらず、イスラエルが、安全保障確保の権利をもつことを認めていると言った。

ガザの市民死傷者は問題ではない——米トップ上院議員

リンゼイ・グレアム談：パレスチナ人がいくら死のうと、米はイスラエルにブレーキをかけるな

<https://www.rt.com/news/586356-senator-graham-no-limit-civilian-casualties-gaza/>

RT

November 1, 2023



アメリカは、ガザの市民人口がどれだけ犠牲になろうと、イスラエルのハマスに対する戦闘を止めさせるべきではない、と上院議員 Lindsey Graham は論じた。彼はイスラエル軍のハマス軍団に対する作戦を、第二次大戦時の、ナチス・ドイツと日本に対する連合軍に喩えた。

CNN とのインタビューで、グレアムは、イスラエルの戦術をどこからどこまで認めるのか、区別の限界はあるのかと訊ねられた。すると彼は、それはないと応え、「イスラエルが、ユダヤ人を殺そうとする人々に対してどうすべきか」の限界はないと言った。

「イスラエルが、自分たちの仲間に交じっていたハマスを、攻撃したからといって謝罪する必要があるという考えは、全く成り立たない」と、この共和党員は主張し、「こうした死傷者を作り出したのはハマスであって、イスラエルではない」とつけ加えた。

グレアムは、イスラエルは「市民の死傷者を少なくする」ことで、「賢く」振る舞うべきだと強調した。この上院議員はまた、「罪のない者を保護する領域」への人道的援助を手配する必要があると言った。

先月、イスラエルを訪問中に、米大統領ジョー・バイデンは、ベニヤミン・ネタニヤフ首相に対し、「アメリカ合衆国が立っている限り、そして我々は永遠に立っており、あなたを決して一人にはしない」と保証した。

先日、イスラエルに対するハマスの強烈な攻撃があつて間もなく、ワシントンは、この長く同盟国だった者に、追加の防衛費数十億ドルを、急いで送る行動を取った。

・・・(後半省略)

[訳者 Greatchain 注]

この2つの記事からいろんなことがわかる。バイデンもリンゼイ・グレアムも、本音はパレスチナ市民の生命などどうでもよく、完全にパレスチナが消滅するまで、戦争を続けることしか頭にない。しかし、(冷静な)聴衆から質問されると、何らかの戦闘軽減の措置が必要であるかのような言い方をしている。それはグレアムの言うように「賢く振る舞う」ためであつて、そこに良心が働いているとは思えない。これが**アメリカ-イスラエル帝国**の本当の姿である。

では、パレスチナ側（ハマス軍側）ではどうか？ 実は彼らも同じことを言っている。彼らも、完全にイスラエルが消滅するまで、この戦争を続けると言っており、イスラエル市民の生命などどうでもよいのである。

ハマス宣言：イスラエルが「消滅する」まで、10月7日 攻撃を何度でも繰り返す

<https://slaynews.com/news/hamas-vows-repeat-october-7-attack-israel-annihilated/>

SLAY

November 3, 2023



トップ・ハマス高官が、このテロ集団は、ユダヤ人国家が「消滅する」まで、恐ろしいイスラエル攻撃を何度でも繰り返すと誓った。

Ghazi Hamad は、最近のインタビューで、ハマスは“Al-Aqsa Flood”と呼ばれる10月7日攻撃を、イスラエルの全員が殺されるまで、継続する予定であると宣言した。

ハマドは誓って、ハマス軍はイスラエルが「終了する」まで、何度でも恐ろしい攻撃を繰り返すと言った。

このインタビューは、ハマスのテロリストが1,400人を殺し、5,300人+を負傷させ、アメリカ市民を含むほぼ240人を誘拐した後で行われた。

「イスラエルは我々の国土の、どこにも場所を持たない国だ」とハマドは宣言した。

「我々はこの国を取り除かねばならない。なぜなら、それは安全保障国を名乗り、アラブとイスラム国家にとって軍事的・政治的な破局をもたらすもので、終わらせなければならないのだ。」

「我々は十分に力を込めてこれを言うことを恥じてはいない。我々はイスラエルに教訓を与え、これを何度でも繰り返すだろう」と彼は言った。

「この〈アルアクサ洪水〉は、第1回目にすぎず、2回目、3回目、4回目があるだろう。なぜなら我々は決心し、固い決意と戦う能力をもっているからだ。」

「我々は代価を払わねばならないって？」

「その通りだ。我々はその代価を払わねばならない。」

「我々は殉教者の国と呼ばれている。そして殉教者を生贄にすることを誇りにしている。」

インタビューが終わった後で、ハマドは「占領はもう終わりにしなければならない」と言った。

彼は加えて、自分はただ、ガザのことを言っているのではない、「パレスチナの国土」と言われるもの、すべてについて言っているのだと言った。

「それはイスラエルの消滅を意味するのか？」と、インタビューアーは訊ねた。

「もちろんそうだ」とハマドは言った。

「イスラエルの存在は論理が合わないのだ」と彼は結論した。

「イスラエルに存在が、すべての苦痛と血と涙を引き起こしている。」

「それはイスラエルであって、我々ではない。我々が占領の犠牲者で、それがすべてだ。」

「だから、誰も我々のすることを咎めるべきではない。」

「10月7日、10月10日、10月1,000,000日、——我々のなすすべ手は正当化される。」

[訳者よりお願い]

おわかりのように、これは対立のどちらか一方を憎み、どちらかに加勢して済む問題ではない。一時的な対処法は、あっても長続きしない。世界は一つという観点を取る限り、我関せず、対岸の火事で済ますこともできない。それは我々地球人全体の背負う「業」のように存在する。我々は根本的な「心の革命」を強要されている。それは集団的な祈りや瞑想につながるだろう。そのような考え方を持つ方々には、どうかご協力をお願いしたい。